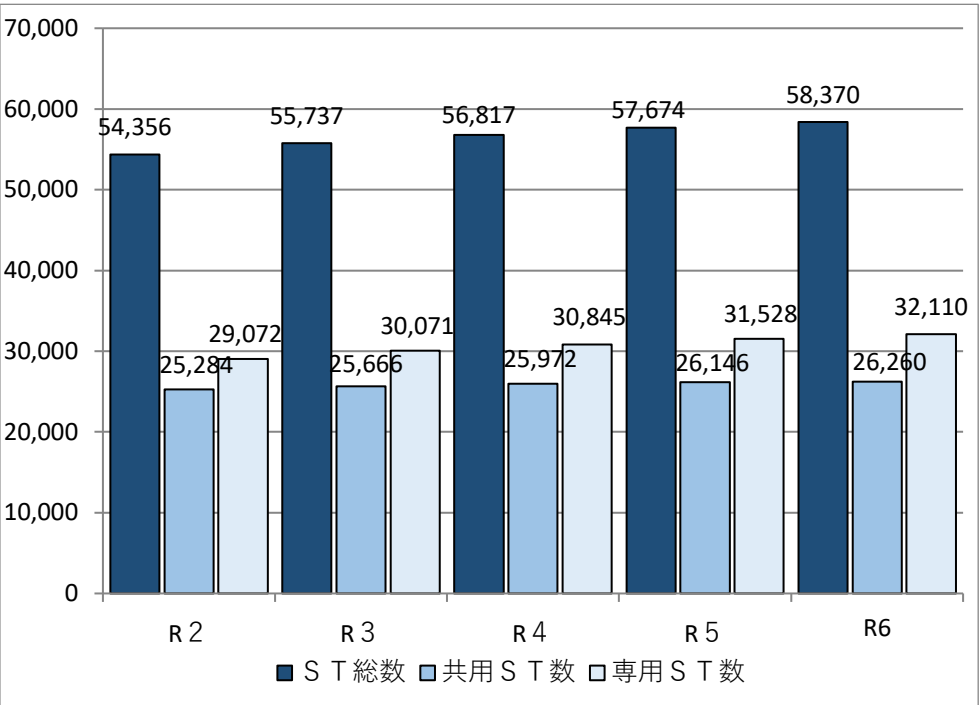


札幌市におけるごみステーション数の推移と利用状況等

1 ごみステーション数の推移等

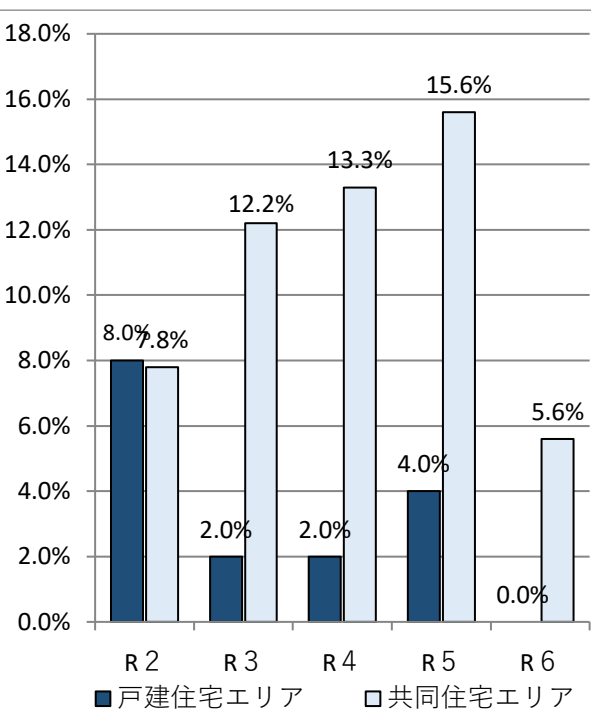
● ごみステーション数の年度別推移



令和2年度と比較すると、道路上等の共用ごみステーションは約1,000ヵ所、共同住宅専用ごみステーションは約3,000ヵ所増加している。

※ 各年度4月1日現在のごみステーション数

● 不適正排出ごみ(違反排出)があるごみステーションの割合



不適正排出ごみがあるステーションの割合は、戸建住宅エリア、共同住宅エリア、どちらもR6は減少しているが、グラフに反映していない部分で、戸建住宅と共同住宅が共用するステーションにおいて、令和5年度の2.5%から令和6年度は7.5%に増加している。

※ 札幌市実施の調査による。

2 区別の共同住宅むね数及び専用ごみステーション数

● 区別の共同住宅むね数及び専用ごみステーション数

区分	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	計
共同住宅むね数	7,290	7,350	9,000	8,600	2,220	7,350	1,610	2,760	6,240	2,450	54,870
専用ST数	5,992	3,867	3,570	5,839	1,657	4,923	693	1,304	3,217	1,048	32,110
設置割合	82.2%	52.6%	39.7%	67.9%	74.6%	67.0%	43.0%	47.2%	51.6%	42.8%	58.5%

※ 共同住宅むね数は、総務省統計局「住宅・土地統計調査」(令和5年10月1日現在)による。

※ ごみステーション数は、令和6年4月1日現在の箇所数

58.5%の共同住宅に専用ごみステーションが設置されている。  
未設置の共同住宅は 22,760棟  
中央区が最も設置割合が高い (82.2%)

